

2022年10月31日

各 位

株式会社三井住友銀行

高周波熱錬株式会社に「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、高周波熱錬株式会社（代表取締役社長執行役員：大宮 克己）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、高周波熱錬株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

① IH技術による金属の熱処理加工を通じた、製造プロセスにおける環境負荷低減への貢献

目標 13 気候変動に 具体的な対策を	13.2 気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。
目標 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。

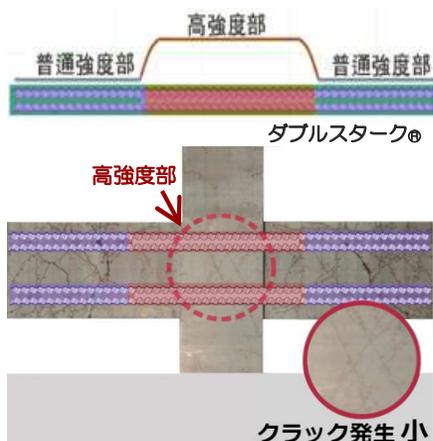
② 高機能な各種部材供給を通じた、建物の耐震性向上、並びに社会全体の環境負荷低減への貢献（建築材料の低減、EV車の普及）

目標 11 住み続けられる まちづくりを	11.3 2030年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、すべての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。
目標 12 つくる責任 つかう責任	12.2 2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。
目標 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	9.4 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。すべての国々は各国の能力に応じた取組を行う。

③ DX 等を通じた、自社及び顧客企業の業務効率化・生産性向上への貢献

<p>目標 8 働きがいも 経済成長も</p>	<p>8.2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。</p>
---------------------------------	--

三井住友銀行では、「SDGs 推進融資」により、本業を通じ、SDGs が達成される社会の実現に貢献をしております。



部分高強度鉄筋「ダブルスター®」
地震時に大きな力が作用する柱梁の接合部に高強度部分を配置することで、鉄筋のサイズダウンや本数を削減でき（鉄筋量 20～30%低減）、省資源・CO2 削減に貢献。



高強度ばね用鋼線「I TW®」
自動車や二輪車のサスペンションばねとして使用される高強度ばね鋼線。車重が増えるEV向けに、世界最大径水準の太径「I TW®」を市場投入。



高周波電源装置 MK31-F
大容量 SiC-MOSFET と FPGA デジタル回路を使用し、「高効率」かつ「IoT・DX」に対応。

<ご参考>

※ SDGs とは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

以 上